

## スプレー缶！穴をあけない回収方法に変更（29年度中に実施！ ※詳細未定）



### これまでの提案

「スプレー缶」の回収方法は、ゴミとして出す前に「穴を開ける」必要があった。しかし、その行為により、**爆発及び火災**事故がいくつもの自治体で発生。尾三管内においては、H24年にパッカー車火災が2件発生。そのため、他自治体の回収方法をはじめ、市内の実態調査を実施した後、本会議の場において**ゴミ処理基本計画の見直しとスプレー缶回収方法の早急な見直し**を求めてきた。



### これまでの答弁

処分先やコストの課題や不燃物としているごみの分別そのもの見直しが必要となってくるため、ごみ処理基本計画での検討が必要。  
ゴミ処理基本計画は、当初の計画通り、見直し時期に見直す。それまでの期間、市民啓発の方法・リサイクルステーションでの対応・ごみ収集時や尾三衛生組合の安全管理について今一度、総点検を指示し、安全管理を徹底する。



### H29年3月現在の結果

これまでは、環境省から出されていた「回収方法の変更」通知や火災事故等が発生している中、約1年半進まなかったが、H29年3月議会の場において、ようやく方針が示され、**ついに、実現**される。  
日進市は、**H29年度中に「スプレー缶」の回収方法を変更！**  
変更後は、ゴミに出す際「穴を開けていない」状態での回収することになります！！

## 市民の生命と財産を守れるのか？日進市地域防災計画の矛盾



### これまでの提案

**日進市地域防災計画**は、様々な災害に対処するため公共機関等が行う防災に関する事務・業務を計画化したものである。この計画は、具体的な**職員の被災想定はなく、全職員が市役所に参集し対応することとなっている**。災害発生時に全職員による対応は現実的ではないため、私は、計画自体に矛盾があるとし、以前より**日進市地域防災計画の抜本的な見直し**を求めてきた。



### これまでの答弁

実際に大規模災害が発生した際の**職員自身の具体的な被災状況まで想定していない**が職員自身も被災することが想定される。また、携帯電話等の通信手段の障害も予想されるため、まずは自身と家族の安全が確認できた後、休日や勤務時間外においては、震度5弱以上の発災時の自動指令も含め、職員自身の判断により参集することとしており、何ら矛盾するものではないと考えている。



### H29年3月現在の結果

職員の具体的な被災想定をせず、災害発生時の参集について職員自身の判断に任せている計画は無計画に等しい。これまでに何度となく、一般質問で取り上げ**計画の見直しを求めてきたが、今後の予定は示されない**。このままでは、災害時に市民の生命と財産を守ることが出来ない。そのため、継続的に見直しを求めていくと共に皆さまと一緒に自分たちで何をすべきか考えたい。

## 税込確保につなげるための「創業支援事業」 今後はどうなるのか？



### これまでの提案

本市は、区画整理により人口増加が続いているが、それだけでは、歳出に見合うだけの歳入はえられていない。そのため、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の策定と具体的な**創業支援事業を展開することで、新たな税込確保に繋げたい**。先進地である福岡市、久留米市等に継続的な調査を行うと共に本会議の場で計画策定と支援事業内容について提案を行ってきた。



### これまでの答弁

特定創業支援事業として、日進市、豊明市、長久手市、東郷町の各商工会が連携し合同で、創業支援セミナーを開催した。今後も本年度実施したセミナー内容、受講者の意見などを関係機関と協議検証しつつ次回の創業支援セミナーにつなげたい。  
ビジネスカフェについては、参加状況、相談内容等も踏まえ、必要に応じて他の支援事業者の協力体制を整えてまいりたい。



### H29年3月現在の結果

創業支援事業計画の策定までには、様々な要因により他の自治体よりも出遅れた取り組みとなったが、約1年半の**継続的な提案の末、実現**した。しかし、現状では、創業に繋がる具体的な取り組みについて、十分とは言えない。今後も視察等の政務調査を行い、成功事例を含めた提案を行うと共に学園都市である日進市の強みを活かし、一社でも多くの創業に繋がるよう取り組みを続けたい。

## 文部科学省が推進するESDとユネスコスクール 市長マニフェストでもあるESDの推進は？



### これまでの提案

我が国の文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として位置付けており、平成28年10月時点で申請中の学校を含め1044校となり、世界最大。ESD及びユネスコスクールへの登録活動世界をはじめ、わが国が推進している。萩野市長はマニフェストに掲げられているため、教育委員会を含め、積極的に推進すべき事業であることの提案を行ってきた。



### これまでの答弁

現段階では、ユネスコスクールへの登録の予定はない。教育委員会としては、学校現場にESD理念を推進する体制が構築されることが望ましいと考えている。こうした環境の中で子ども達が「持続可能な社会の実現」というESDを身近に実感する学校運営を進める。市役所内においては、庁内の部署配分が適切かどうかを研究し、**ESDに関連する事業を集約できる部署を考えたい**。



### H29年3月現在の結果

H29年3月議会において、市長の方針が示された。ESD関連施策を効果的・効率的に推進するために適切な組織体制を構築することとなった。**ESDに関連する事業を集約できる部署設置が実現**に向け動き出した。私自身も中部ESD拠点にて勉強すると共に、ESDに関連する市民活動にも参加し、本市が取組むESDを積極的にバックアップしたいと考えてる。